

ここが知りたい心臓の話

専門医の「技」と、チームの「総合力」。



循環器内科

徳田 道史 診療部長

循環器内科は、心臓を診る内科です。基本的には、お薬で治療する「薬物治療」が一つの柱で、もう一つが「カテーテル」です。外科のようにメスで胸を開くのではなく、細い管を使って心臓の不整脈や弁の治療を行います。当科では、この「カテーテルアブレーション」という高い技術とともに専門科の垣根を超えたハートチーム医療を実践しています。

条件さえ整えば、85歳やさらに高齢の方でも治療が可能です

以前は、心房細動に対するカテーテルアブレーション治療は75歳程度が上限と考えられていました。しかし現在では、手技の安全性が向上してきており、85歳やさらに高齢の方でも、お体の条件さえ整えば治療が可能となっています。不整脈や動悸のつらい症状でお困りの場合は、年齢を理由に諦めず、ぜひご相談ください。

高度なカテーテル技術

<カテーテルアブレーション>

カテーテルアブレーションは、不整脈や動悸を治療する技術です。足の血管などから挿入する細い管で心臓の内部を治療します。傷も小さく、平均すると手術後3時間ぐらいで病棟を歩いていただけます。翌日の検査で問題なければ、翌々日には退院していただけるような身体への負担が比較的小さい治療法です。

<パルスフィールドシステム>

近年、日本でも使えるようになった治療法

電気の力を利用して、温度を上げることも下げることもなく局所的な心臓の筋肉細胞の細胞膜に小さな穴をたくさん開け、心臓の筋肉を不整脈が出ないように修飾する治療法です。



当科では、最新の技術によって患者さんに安心して治療を受けていただける環境をご用意しています

慈恵医大におけるアブレーション治療は、豊富な症例経験と専門的な技術に支えられています。日進月歩で進化する新しいカテーテル技術を活用するとともに、その手技を全国の医療機関へ指導する役割も担ってまいりました。これらの確かな実績と最新の医療技術により、患者さんに心から安心して治療を受けていただける環境を整えています。



ここが知りたい 心臓の話

**診療紹介と
カテーテルアブレーション**

JIKEI VIDEOS #015 高度なカテーテル技術

THE JIKEI UNIVERSITY 専門医紹介動画

YouTube

各診療科の専門医が
疾患の解説や治療法について
詳しくご説明しています。

